

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】平成 19 年 10 月 11 日 (2007.10.11)

【公表番号】特表 2003-507130 (P2003-507130A)

【公表日】平成 15 年 2 月 25 日 (2003.2.25)

【出願番号】特願 2001-518046 (P2001-518046)

【国際特許分類】

A 6 1 L 27/00 (2006.01)

A 6 1 B 17/00 (2006.01)

A 6 1 L 26/00 (2006.01)

A 6 1 M 25/00 (2006.01)

【F I】

A 6 1 L 27/00 V

A 6 1 L 27/00 Z

A 6 1 B 17/00 3 2 0

A 6 1 L 25/00

A 6 1 M 25/00 4 1 0 D

【手続補正書】

【提出日】平成 19 年 8 月 22 日 (2007.8.22)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】 標的領域の崩壊を誘導し、肺の一の崩壊部分及び他のものとの接着を促進し、かつ肺の崩壊領域中のまたはその周辺の線維形成を促進する材料を含む、肺容積を減少するための生理学上許容できる組成物。

【請求項 2】 該材料は、フィブリンまたはフィブリノーゲンを含む、請求項 1 に記載の組成物。

【請求項 3】 さらにポリペプチド成長因子を含む、請求項 1 または 2 に記載の組成物。

【請求項 4】 該ポリペプチド成長因子は、線維芽細胞成長因子 (F G F) またはトランスフォーミング成長因子 - 様 (T G F - 様) ポリペプチドまたはトランスフォーミング成長因子 (T G F -) である、請求項 3 に記載の組成物。

【請求項 5】 該 F G F は、塩基性の線維芽細胞成長因子 (b F G F) である、請求項 4 に記載の組成物。

【請求項 6】 さらに細胞外基質 (E C M) の成分または E C M 様物質を含む、請求項 1 ~ 5 のいずれか 1 項に記載の組成物。

【請求項 7】 該 E C M の成分は、ヒアルロン酸 (H A)、コンドロイチン硫酸 (C S)、またはフィブロネクチン (F n) を含む、請求項 6 に記載の組成物。

【請求項 8】 該 E C M 様物質は、ポリ L - リシンまたはプロリン及びヒドロキシプロリンから構成されるペプチドを含む、請求項 6 に記載の組成物。

【請求項 9】 さらに血管収縮を引き起こす物質を含む、請求項 1 ~ 8 のいずれか 1 項に記載の組成物。

【請求項 10】 該血管収縮を引き起こす物質は、エンドセリン、エピネフリン、またはノルエピネフリンである、請求項 9 に記載の組成物。

【請求項 11】 さらにプロアポトーシス物質を含む、請求項 1 ~ 10 のいずれか

1 項に記載の組成物。

【請求項 1 2】 該プロアポトーシス物質は、スフィンゴミエリン、B a x、B i d、B i k、B a d、B i m、c a s p a s e - 3、c a s p a s e - 8、c a s p a s e - 9、またはアネキシン V である、請求項 1 1 に記載の組成物。

【請求項 1 3】 さらにフィブリノーゲン活性化因子を含む、請求項 1 ~ 1 2 のいずれか 1 項に記載の組成物。

【請求項 1 4】 該フィブリノーゲン活性化因子はトロンピンである、請求項 1 3 に記載の組成物。

【請求項 1 5】 該フィブリノーゲンは、3 ~ 1 2 % のフィブリノーゲンを含む、請求項 2 ~ 1 4 のいずれか 1 項に記載の組成物。

【請求項 1 6】 さらに第 X I I I a 因子トランスグルタミナーゼを含む、請求項 1 ~ 1 5 のいずれか 1 項に記載の組成物。

【請求項 1 7】 さらに抗生物質を含む、請求項 1 ~ 1 6 のいずれか 1 項に記載の組成物。

【請求項 1 8】 ポリペプチド成長因子及び

(a) フィブリノーゲンまたは

(b) フィブリンモノマーまたは

(c) フィブリノーゲン活性化因子

からなる、生理学上許容できる組成物。

【請求項 1 9】 該ポリペプチド成長因子は、線維芽細胞成長因子 (F G F) である、請求項 1 8 に記載の組成物。

【請求項 2 0】 該 F G F は、塩基性の線維芽細胞成長因子 (b F G F) またはその生物学的に活性のある断片である、請求項 1 9 に記載の組成物。

【請求項 2 1】 該ポリペプチド成長因子は、トランスフォーミング成長因子 - (T G F -) である、請求項 1 8 に記載の組成物。

【請求項 2 2】 該フィブリンモノマーは、フィブリン I モノマー、フィブリン I I モノマー、デス B B フィブリンモノマー、またはこれらの混合物若しくは組み合わせである、請求項 1 8 ~ 2 1 のいずれか 1 項に記載の組成物。

【請求項 2 3】 該フィブリノーゲン活性化因子はトロンピンである、請求項 1 8 ~ 2 1 のいずれか 1 項に記載の組成物。

【請求項 2 4】 さらに抗生物質を含む、請求項 1 8 ~ 2 3 のいずれか 1 項に記載の組成物。

【請求項 2 5】 細胞外マトリックスの成分、ポリ L - リシン、またはプロリン及びヒドロキシプロリンから構成されるペプチドならびに

(a) フィブリノーゲンまたは

(b) フィブリンモノマーまたは

(c) フィブリノーゲン活性化因子

からなる、生理学上許容できる組成物。

【請求項 2 6】 血管作用物質および

(a) フィブリノーゲンまたは

(b) フィブリンモノマーまたは

(c) フィブリノーゲン活性化因子

からなる、生理学上許容できる組成物。

【請求項 2 7】 プロアポトーシス物質および

(a) フィブリノーゲンまたは

(b) フィブリンモノマーまたは

(c) フィブリノーゲン活性化因子

からなる、生理学上許容できる組成物。